

昭和37年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して

東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員	主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
山の気象	6月	4/30日	高層課：大井		(38年)		
乱流	6月	4/30日	測器課：清水	太陽活動と放射	1月		長期予報：朝倉
低気圧	8月	6/30日	予報課：石原	気象電気	1月		研究所：今井
気象学史と気象教育	8月	6/30日	研究所：松本	気候	1月		長期予報：朝倉
高層気象	9月	7/31日	研究所：渡辺	長期予報	2月		長期予報：朝倉
生気候	9月		高層課：大井	レーダー気象	2月		研究所：今井
大気汚染	9月		研究所：神山	観測と測器	2月		測器課：清水
気象災害	10月		研究所：神山	メソ気象	3月		研究所：松本
風のシンポジウム	11月		研究所：渡辺	対流雲	3月		研究所：松本
台風	11月		測器課：清水	航空気象	3月		研究所：今井
気象統計	11月		予報課：石原				研究所：渡辺
			研究所：松本				東京航空：上松
			研究所：渡辺				
			長期予報：朝倉				

第12期第1回常任理事会議事録

(新旧合同常任理事会)

日時 昭和37年6月11日(月) 17.00~21.00

場所 神田学士会館

出席者 桜庭、吉武、畠山、正野、淵、今井、有住、増田、岸保、松本、村上、須田(達)、根本、神山、藤田(敏)各理事、高橋(浩)、北岡各監事(順序不同)

全国理事による投票の結果、正野13票、畠山5票となり、理事長に正野重方氏、理事長代理に畠山久尚氏が就任することになった。

正野理事長の新任挨拶

当然やめるべきと考えたが、やり残しの仕事が多分あり気にかかってもう一期だけ勤める気持ちになった。やり残しの仕事を完了し、次の人にやりやすい形にしてバトンを渡したいと思う皆様の援助でもう一期つとめたいと思う。

根本理事の離任挨拶(要旨)

イ. 役員選挙前の半ば公約的なものは実行してもらいたい。

ロ. 学会のマークをきめてもらいたい。

増田監事の離任挨拶(要旨)

イ. 集誌会員への情報用別刷は不経済で、全会員が「天気」をとるよう考慮すべきであろう。

ロ. 数値予報国際シンポジウムの締めくくりをして全会員に発表してもらいたい。

決 議

1. 各常任理事の任務分担は次のとおりとする。

庶務：淵、村上、増田、会計：吉武、外国庶務：須田、学会連合：畠山、岸保、集誌：桜庭、天気：有住、ノート：神山、講演企画：今井、外国文献：正野、桜庭、吉武、国際學術交流：岸保、學術：松本、増田、村上、

2. 日本学術会議第6期会員候補者推せんについては昭和34年度総会決議に基づき全会員の投票によることとし選挙管理委員会にゆだねる。

3. 80周年ノート特集号内容の最終検討は編集委員と各担当理事が集まり実施する。

4. 数値予報国際シンポジウムのプロシーディングは本製本500部、未製本100部印刷する。